

# 支部だより

## 山梨支部

支部通信員 細入 保比己

### 引込用開閉器安全研修会



机上安全研修会風景

3年ごとに行われる、引込用開閉器操操作安全研修会が今年も支部保全委員会の主催により平成25年7月と9月の二回に分けて開催されました。

これは、東京電力(株)との開閉器操作委託契約に基づき行われており、私達協会員が年次点検等においてAS操作の開閉が必要なときに東京電力に代わって、資格認定を受けた者が開閉操作を可能にした制度であります。資格種別としては、引紐(A)、ロッド(B)、監視(C)の3種類の中から自分に必要な資格を3年毎に更新することになっており、今年も山梨支部としては68名が受講をいたしました。

研修会は、韮崎東京電力配電技能研修所の訓練設備を使用して、東電社員の講師のもと、昇柱訓練の基本及び安全への取り組み等についてスライドを利用して30分程度の座学講習のあと、屋外にて昇柱訓練の実技を受けました。

実技に入る前に、安全靴・ヘルメット・手袋は正規なものを使用しているか、また、梯子は固定されているか、胴綱等の保護具には損傷などがいないか、その他、昇柱時には自分の体を胴綱、補助ロープを使い必ず3点支持しているか、数多くの確認項目の指導を受けました。

しかしながら、実際実技に入ると、自分では体力的にまだまだ若いと思っていましたが、年齢からくる体力的衰えには勝てず、なかなか指導されたとおり昇柱訓練がスムーズにいかず経験不足を露呈する結果となってしまいました。

日常の作業は常に一人作業である旨を自覚し、細心の注意を払い保守作業に臨んでいますが、万が一自分の不注意で設備事故や傷害事故につながってしまうことを肝に命じ、普段から基本動作を守り確実な保守作業に徹しなければならないことを改めて再認識させられたばかりでなく、訓練の必要性を痛感させられました。



実技研修会風景



今回の開閉器操作昇柱訓練ばかりでなく、普段から支部長以下関係役員の方々が一丸となって事故防止や技術力向上など多岐にわたり、公益事業者として積極的に取り組んでいる姿には頭が下がる思いです。

最後にこの様な訓練の計画実施にあたり、縁の下の働きをして頂いた保全委員会の皆様の労に敬意を表したいと思います。